

平成28年第5回 日高市教育委員会会議録

開催の日時	平成28年5月17日（火曜日）午後1時44分から3時28分まで
会議開催の場所	市役所503会議室
会議の公開又は非公開の別	公開。
非公開理由	—
出席委員の氏名	中村一夫（教育長）・矢次健志・島村由起男・清水慶育・神山好子
欠席委員の氏名	なし
説明員の職氏名	教育部長 野村泰平・教育部参事 島津芳久・教育総務課長 鈴木雅広・学校教育課長 中村公一・学校教育課副参事 稲村浩之・生涯学習課長 関根俊介・生涯学習課副参事 中平薫
出席した事務局職員の職氏名	教育総務課主査 菊地誠治
傍聴者数	1人
会議資料の名称	会議次第・教育長報告・議案第40号・配布資料一覧

議題及び決定事項等

議案第40号 日高市横手台グラウンド条例  
原案どおり可決

会議の経過

- 1) 前回会議録の承認事項 出席委員異議なく承認
- 2) 教育長の報告の要旨
  - 校長会議、教育委員会部課長会議における教育長指示・伝達内容について報告した。
  - その他、各部課長から、実施した事業等の結果と今後の予定を報告した。
- 3) 教育長報告についての質疑及び答弁の要旨
 

【教育長報告関連】

(委員) 管理職候補者選考について、志願基準や年齢要件はあるのか。

(教育部参事) 教頭については、35歳以上で本県の教諭経験が5年以上の方が対象であり、校長については、43歳以上で教頭試験合格後4年以上の方が対象となる。特に資格要件のようなものは定めていない。

(委員) 志願基準などが厳しいわけではないように思えるが、この年齢層の職員の育成が必要と考えられる中で、毎年、志願者が減となっている理由はあるのか。

また、管理職が志願を促す場合以外で、自主的に志願する職員は多いのか。

(教育部参事) 現在の全教職員の年齢構成上、対象となる年齢層が少ないことが挙

げられる。数年後には、年齢層が上がることにより対象者数が増加するので、志願者数は増加すると見込んでいる。

(教育長) 自主的な志願は少ない。現状では、管理職から対象者に対して志願するように求めているケースの方が多い。ただし、自主的に熱意をもって志願する教職員も当然にいる。

(委員) 日高市教育研究会総会の会員の構成は。

(教育部参事) 公立小・中学校の教職員で構成されている。

(委員) 県教育局小中学校人事課市教委訪問の内容及び訪問者は。

(学校教育課長) 西部教育事務所の職員ではなく、本局の職員が年1回、各市町村教育委員会を訪問するものである。内容としては、翌年度の人事上の課題や施設の統廃合などがある場合の課題などをヒアリングするものである。

(委員) 高麗公民館の生活習慣病予防撃退講座の内容及び講師はどのような方がやるのか。同じくスマホ講座については、青少年の有害情報対策などの講座となるのか。

(生涯学習課長) 講師は保健師となる。内容については、次回以降に資料を用意する。スマホ講座については、スマホの使用方法についての講座である。

(委員) 武蔵台公民館のおひとりさまサロンの内容は。

(生涯学習課長) ひとりでも参加でき、普段困っていることや悩み事などを相談できる様な機会を設けている。

(委員) 高麗川公民館のこまがわっ子合宿通学の内容及び目的は。

(生涯学習課長) 高麗川小学校4年生から6年生を対象に、高麗川公民館で宿泊を伴う集団生活及び学校へ通学する事業であり、自主性の向上及び学年を超えた集団生活を学ぶための機会を設けるものである。

#### 【教育長報告：資料1関連】

(委員) 管理職の健康面で、早い時期に人間ドックをお願いしたいとのことであるが、人間ドックは義務であるのか。また、受検時期などは決まっているのか。

(教育長) 健康診断は義務となるが、人間ドックは本人の希望により受検するものとなる。受検時期については、特に定めていない。

(委員) 1月などになると、人事の時期となるが、人間ドック後に精密検査となると3、4か月は見込む必要があるので、少なくとも年内までには受検しないと厳しいと考える。

(教育長) 受検希望者については、早めに受検するよう指導する。

(委員) 人事評価の各学校長との教育長面談で、各校の課題とあるが、具体的にど

のような課題及び解決方法の事例があるのか。

(教育長) 一例として、若手の教職員が増えている中で、生徒指導など大きな責任のある仕事を与えて、個人の意識を高めることや職務遂行にあたり、主担当以外の職員が複数参画できる体制をつくり組織力の向上を図っている。

(委員) 目的や目標があって、初めて課題が生じると思うが、目標設定の考え方は。

(教育長) 各学校の目標設定を明確にし、各教職員が共有することにより目指す学校像を確立する中で生じる課題について、各教職員が解決に取り組むという体制となっている。

(委員2) 各学校長が人事により変わった時に、校長個人の考え方によって目標設定が変わるということであると、継続性の観点から、今までの良い取り組みなども変わってしまう可能性があり、教育委員会である程度チェックしていく必要があると考える。

(教育長) 継続性は重要であるので、地域及び学校の実情も踏まえ、良い伝統は踏襲したうえで、生じた問題点を解決するための良いアイデアについては尊重しながら、バランスをとって、各学校長へ指導していく。

(委員) 日高市ドレスコードマニュアルを確認したい。

(教育長) 後日資料を用意する。

(委員) 日高市スポーツ少年団について、卒団した方々が、それぞれのチームの指導者となっているというのは、とても素晴らしいことだと思う。指導者は登録制度などによるのか。

(教育長) 登録及び研修を行っている。ジュニアリーダーについては、現在はミニバスのみであるが、同じく登録制となっている。

(委員) 建郡 1300 年記念式典について、小学生は式典当日用に統一の衣装（白のポロシャツ）を用意され、舞台に立つようであるが、当初から計画にあったものであるのか。

(教育部参事) 昨年度中に小学6年生について、歌で式典に参加することが計画された。中学生は制服があるが、小学生は制服がないため統一感を出すために衣装を用意したものである。

(委員) 事前に決まっていたとのことであるが、聞いた話であるが、衣装のサイズ確認について、事前連絡なしに小学生からの聞き取りのみで1日で決定されたとのことである。小学生が自分のサイズを把握していない場合も考えられるため、事前に決まっていたのであれば、もう少しサイズ確認に期間を設けるなどの手法を検討する必要があったのではないか。

(教育部参事) 衣装の配布について、年度末から年度開始の時期に決定したものであり、学年構成も決まっていな中で、サイズの確認ができる状態ではなかった。新年度に入ってからサイズ確認となってしまったため、納品までの時期との兼ね合いから確認期間が少なくなってしまったものである。

#### 【教育長報告：資料2 関連】

(委員) 図書館アンケートについて、開館日及び時間の拡大の希望を聞く中で、参考にある開館日及び時間を拡大する場合の経費を掲載するというのは、回答を誘導するようで、アンケートの形態として、望ましくないのではないかと。

公の施設であるので、様々なニーズを受け入れるべきであり、あまり経費削減の方向性だけで、施設の運営を考えるのはどうかと思う。

(生涯学習課長) 参考で金額を示した理由は、単に情報として掲載したものであり特に誘導などの意図があるものではないが、今後、アンケートを実施する際には、方法及び内容などを精査したうえで実施することとする。アンケートの再実施については、集計結果により改めて検討したい。

(委員2) アンケートの趣旨と結果についてはどのように反映するのか。例えば閉館時間を延ばすのであれば、今までと異なるサービスとして、一例であるが、利用者が読みたい本の要望を受け、用意出来たら貸出し、貸出後は駅などに返却できるようにするなどソフト面のサービスの充実も図ってほしい。

(生涯学習課長) アンケートについては、任意で中学生以上を対象としている。アンケートの趣旨としては、平成29年度から図書館の貸し出しなどについて、委託を検討している中で、閉館時間なども含め検討材料とするための資料とするものである。一例でいただいた各駅の本の回収については、実施方法含めすでに検討中の状況である。読みたい本の要望については、随時、図書館窓口で対応可能である。

(委員) 平成29年度の委託の方法は。また、委託する理由は。

(生涯学習課長) 指定管理者による一括管理ではなく、貸出し業務などの一部委託を考えている。委託する理由は、サービス向上と経費削減が主な理由となる。

(委員) そもそも閉館時間の延長及び開館日の増について、要望はあるのか。

(生涯学習課長) 閉館時間について延長しているが、さらなる時間の拡大及び開館日の増について拡大の要望はある。

#### 4) 議案についての質疑及び答弁の要旨

##### 議案第40号について

(委員) グラウンドに備え付ける物品はどのようなものか。また、備え付けの物品以外の物品を使用する場合はどのようなケースか。

(生涯学習課長) ソフトボール場のベース類、ライン引きなどを想定している。ソフトボールを想定しているが、他の目的で使用する際の物品などが考えられる。

(委員) 使用料について、金額の根拠はあるのか。

(生涯学習課長) 総合公園の野球場など、他施設の使用料を考慮し設定したものである。

(委員) 飯能市や狭山市などの近隣市は、市内の扱いとはならないのか。

(生涯学習課長) 現時点では、広域利用の協定は結んでいない。今後、利用協定を締結すれば市内と同様の扱いになる。

(委員2) 使用料について、指定管理者による管理となった場合、条例上の金額の範囲内で下げることが可能なのか。

(生涯学習課長) 可能である。

(委員3) ソフトボール以外のスポーツの利用はできるのか。

(生涯学習課長) 全面利用であれば、少年用サイズであるがサッカーなど対応可能である。また、専用スペース以外にも多目的広場などでの別利用は可能である。

(委員3) グラウンド内で生じる清掃及びごみの管理などは、自治会や地区の住民でなく市がやるのか。

(生涯学習課長) 市が委託などにより行う予定である。

(委員3) グラウンドについては、災害時の避難場所となるのか。

(教育部長) 指定は、市長部局とするものであり、教育委員会で対応できるものではないが、指定の方向で検討している状況である。

## 5) その他

### (1) 次回定例会の日程等について

○6月定例会：6月29日（水曜日）午後1時40分から 委員了承

○7月定例会：7月20日（水曜日）午後1時40分から 委員了承

### (2) その他連絡事項

○平成28年度埼玉県教育委員会連合会総会

5月24日（火曜日）午後【行田市】

○平成28年度埼玉都市町村教育委員会教育委員研究協議会

6月6日（月曜日）午後【さいたま市】